

## P37

# 新中医学研究：現代中国の新たな腎臓病治療薬「トロロアオイ花（甲花）」および肝保護療法における「垂盆草」の研究

Effects of New Chinese Traditional Herbal Medicines, *Abelmoschus manihot* (L.) Medic and *Sedum sarmentosum* Bunge, on Renal Disease and Hepatitis.

○野村 正和<sup>1)</sup>, 熊 宁宁<sup>2)</sup>, 張 岫美<sup>3)</sup>

1) 新中医学研究所, 2) 南京中医薬大学, 3) 山東大学医学院薬理学研究所

In China, both of the traditional and the western medicals are officially recognized and they have been kept efforts for fusion of them. As a result, many traditional herbal medicines are newly developed and applied on the treatment in the hospitals. The effects of *Abelmoschus manihot* (L.) Medic on the renal disease and *Sedum sarmentosum* Bunge on the hepatitis were examined and the usefulness was recognized as the alternative medicine.

### [緒言]

現在中国の医療制度は西洋医学（西医学）と東洋医学（中医学）が両立していて、それぞれの医大があり異なる医師資格が認められている。両医学は過去 20 年間以上に渡り融合が計られ、その結果多数の中国独自の医薬品が開発されて広く医療現場で用いられているが日本ではほとんど知られていない。今回、トロロアオイ花（甲花）の糖尿病性腎症および垂盆草の肝保護療法への応用の可能性について検討を加えた。

\*トロロアオイ：*Abelmoschus manihot* (L.) Medic

\*垂盆草：*Sedum sarmentosum* Bunge

### [方法]

①一般的な経口糖尿病治療薬(Gliclazide)およびレニン-アンジオテンシン系降圧剤(Captopril)により治療中の糖尿病性腎症を伴う非インスリン依存型糖尿病患者を無作為に 2 群に分け、治療群にはトロロアオイ花部アルコール抽出物製剤(1.2g/day)を 8 週間経口投与した。治療前と比較して尿蛋白量が 50%以下に減少した場合に有効と判定し、Ridit 分析法により統計処理を行った。

②マウスに垂盆草熱水抽出物(1,404mg/kg, 468mg/kg, 156mg/kg)を 2 週間連日経口投与した後に、落花生油で 0.3%に調製した四塩化炭素溶液を皮下投与(10ml/kg)し、四塩化炭素溶液投与 20 時間後に眼球より採血して市販の測定キットを用いて ALT, AST 値を測定した。

### [結果]

①トロロアオイ花部抽出エキスを投与した群では 31 例中 26 例が有効(83.87%)であったのに対し、対照群では 29 例中 9 例(31.03%)に過ぎず、対照群と比べてトロロアオイ投与群では明らかに尿蛋白量が改善された。(U=4.02, P<0.01)

②垂盆草熱水抽出物は急性肝障害モデルにおいて肝臓毒投与後のマウス肝障害を用量依存的に軽減した。

### [結論]

トロロアオイ花部(甲花)と垂盆草には、それぞれ国内の糖尿病性腎症治療法および肝保護療法を補完しうる優れた効果が認められた。